

令和5年度運輸安全マネジメントレビュー会議議事録

実施日時	令和6年3月26日 10:00～11:30
実施場所	本社営業所
参加者	安全統括管理者： 代表取締役 渡辺敏也 統括運行管理者： 課長 高山和明 運行管理者： 大森秀樹

重点施策について

- ◎ 今年度は、負傷者の生じた大きな事故はなかったが、対物事故が2件、自損事故が1件発生した。
- ◎ 昨年に続き、輸送の安全の確保が最優先という意識を植え付ける。
- ◎ 教育について、添乗指導を行う一方、ドラレコデータの活用を推進する。
- ◎ デジタルタコグラフデータもより一層活用する。

目標について

- ◎ アルコール検出は0件であった。引き続き飲酒・酒気帯び運転の撲滅を強力に推進していく
- ◎ コンプライアンス意識の向上について、確実な一時停止、右左折時の徐行など重点キャンペーンを行い引き続き励行していく。

指示・計画について

- ◎ 事故防止委員会の開催回数が相変わらず少ないので、増やしていく。
- ◎ 脳ドック受診の推進（来年度は5名）
- ◎ 実技訓練の一層の充実。
- ◎ 完全な一時停止の実施を励行させる。

苦情について

- ◎ 今年度は1件の苦情が発生してしまった。SNSに公開されるリスクもあるため、そのあたりも含めた教育と、接遇の改善を心掛ける。